

No.3

下野市立石橋中学校



# 校長室だより

目指す学校像

～生徒も先生も、自ら輝く学校～  
 「明るい学校」「温かい学校」「安心安全な学校」  
 令和元年 6月 7日(金)  
 発行者 坂口 修

## 春季県大会

5月31日(金)～6月2日(日)令和元年度春季県大会が各会場で行われました。さすが、どの学校も各地区の代表として出場してきたチーム。思うような結果を残すことができなかった部もありました。しかし、生徒達は、最後まで諦めることなく頑張っていました。

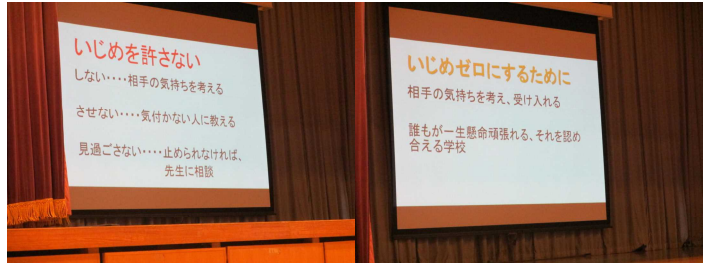
「春季県大会」において出場された部の保護者の皆様には早朝より、また、遠方まで応援等で大変お世話になり、ありがとうございました。生徒達は、新たな課題を見つけ夏の総体に向け、練習に取り組んでいます。どうぞ、今後ともご支援ご協力のほどよろしくお願いいたします。尚、試合結果は以下のとおりです。

野 球	1回戦 ○ 7-4 真 岡 2回戦 × 1-3 瑞穂野	
男子バレーボール	1回戦 ○ 2-0 足利三 2回戦 × 0-2 宮の原	
女子バレーボール	1回戦 × 0-2 久下田	
バドミントン	○男子団体 1回戦 × 1-2 本郷 ○女子団体 <b>ベスト8</b> 1回戦 ○ 2-0 七井 2回戦 ○ 2-0 壬生 3回戦 × 0-2 上三川	○女子シングルス 岡島(2回戦敗退) 堀内(1回戦敗退) ○女子ダブルス 福田・梅村(2回戦敗退) 藤田・小野口(1回戦敗退) 斉藤・森山(1回戦敗退)
柔 道	○男子団体 予選リーグ敗退 ○個人戦 73kg級 高山 <b>準優勝</b> 菅野(2回戦敗退)	
陸 上 競 技	2年女子 100m 第3位 大関 1年男子 100m 第5位 島野 共通男子3000m 第8位 木村	
卓 球	○男子シングルス 栗林(3回戦敗退) 渡邊(2回戦敗退) 井口(2回戦敗退) 倉井(1回戦敗退) 高橋(1回戦敗退)	
剣 道	○男子団体 1回戦 × 1-2 西那須野	
ハンドボール	○男子 <b>準優勝</b> 準決勝 ○ 26-10 野木 決 勝 × 14-21 大平南	○女子 <b>第3位</b> 1回戦 ○ 15-14 大平南 準決勝 × 11-15 東陽 3 決 × 13-17 吹上
男子ソフトテニス	○団体 <b>第3位</b> 1回戦 ○ 2-1 日光東 2回戦 ○ 2-0 野木 3回戦 ○ 2-1 三島 準決勝 × 0-2 姿川	○個人 藤中・渡邊 <b>ベスト8</b>
女子ソフトテニス	○団体 1回戦 × 1-2 西那須野	○個人 老沼・佐藤 <b>ベスト16</b>
新 体 操	○ボール・クラブ出場 荒川	
水泳(地区大会) 県大会出場	○200m 個人メドレー <b>第1位</b> 高柳 100m 平泳ぎ <b>第2位</b> 高柳	

## いじめゼロ集会 5月28日(火)

今年度のいじめゼロ集会では「いじり」と「いじめ」の違いとは何なのかを中心にある中学校の例（NHK for Schoolより）を視聴しました。また、生徒指導主事からも「いじめ」についての話をし、生徒達は、お互い（友達）が嫌な気持ちにならないためにできることを一人一人深く考える時間となりました。

集会の最後には、いじめが許されるものではないことを改めて全校生徒で確認をし、「しない・させない・見過ごさない」この3つをキーワードとして、石中生全員が毎日楽しく学校生活を送れるよう「認め合い」を大切に友達と良い関係を築いて行って欲しいと思います。



生活副委員長さんの話

### 【いじめゼロ集会・生徒の感想より】

○いじめゼロ集会の話聞いて「いじり」の動画が心に残りました。明るいいじりならいいとか意見があったなかで、明るいいじりでも、まわりの人が楽しくても、言われている人の気持ちも考えた方がいいなと思いました。みんなが、幸せな生活を送るために、自分の言った言葉が本当に正しいのか考えながら話すことによって、いじめがなくなると思いました。

いじめをなくすためには、人の気持ちを考えてあげることが、大切なんじゃないかと思いました。

○自分も、いじられたり、いじったりする事があるので、今日のVTRで「やってもいい、いじりは無い」という事が分かった。これから友達と話したり、遊んだりする時には、相手のことを考えた発言をしたいと思った。また、「言葉には魂が宿る」という先生の言葉が、とても印象深く心に残った。言葉には、本当に魂が宿ると思うので、言葉や、言葉づかいには、特に気をつけようと思った。

○今日のいじめゼロ集会の話聞いて、いじりもいじめと同じように人を傷つけるということが分かりました。そして、いじめは犯罪になる、絶対にやってはいけないことということも知りました。また、見て見ぬふりをせず、しっかり人に言ったりすることで、いじめを少しでもなくせると思いました。相手の気持ちを考え、思いやりをもって発言、行動することが大切だと言うことが分かりました。

○クラスの人からの「いじり」を受けて傷ついている人や、みんなの前で笑って過ごしているが、心の中では泣いている人が、必ずいることが分かった。自分が楽しいな、おもしろいなと思っていても「いじり」は必ず誰かを傷つける。言葉で言われるだけで、血液の流れに影響がでたり、脳にまで負担がかかってしまう。いじめを受けた人は、その後の人生やこれからの未来を崩してしまうと思った。

この話を聞いて私は、これからの生活で人がいやがったり、傷つく行動・発言はしてはいけないと思った。人の気持ちを考えて生活したい。

○ビデオを見て、「いじめ」ではなく「いじり」について考えたことはあまりなかったので、「真剣に考えてみよう」と思った。どこからどこまでがよくて、どこからが悪いのかは人によって違うので、相手のことを思いやりながら生活しようと思った。

水の結晶の映像では、水であれだけ変わってしまうなら、人間だったらもっと変化してしまうのではないかと感じた。自分が発する1つ1つの言葉に重みがあることを知った。脳の映像や、未来に渡ってもその出来事が影響してしまうことから、自分が相手の人生を大きく変えてしまうかもしれないとも思った。これからは、今まで「笑っているからいい」という考えをあらため、人を今まで以上に思いやっていきたいと思った。